

令和6年度 第3回北広島市芸術文化振興審議会会議概要

日 時	令和7年3月5日(水) 18:30~20:00
会 場	北広島市芸術文化ホール 活動室3
出席委員	藤山 正人 委員、落合 美和子 委員、高木 恵 委員、布施 裕 委員、和嶋 忠司 委員
欠席委員	山崎 正明 委員
市出席者	新谷教育部理事、若澤文化課長、記内主査、加藤主任
傍 聴 者	なし

1 開会

委員の過半数が出席していることから当会議が成立していることを確認して開会。

2 会長あいさつ

3 議事

(1) 北広島市芸術文化ホールのあり方について（施設編）

- 事務局から資料に沿って説明

→ 若い世代にも親しまれる施設として、ライブ会場があると魅力的に感じられると思う。

→ 演劇で使用するためには597席は空間が広く、声の響きを確認し難いことから、演劇で使用するならば小劇場があると実用的であると思う。

→ 活動室1・2のエレベーターは、特定利用となっている2階エリアも一般利用が可能となるように対応してほしい。エントランスのエレベーターから活動室1・2までは距離が遠く、足元に不安のある方には不便と感じている方もいる。

→ クラシック音楽は、舞台用の幕が音を吸うため、クラシック音楽でも用いることを考えると舞台用の幕は無い方が良い。

→ デリバリーサービスが増えてきているため、活動室1・2隣接のパントリーに配膳機能がなくとも、レセプション的な使用は継続できると思う。

→ ホールの597席は、市民団体にとっては広すぎる印象がある。200席程度の規模がちょうど良いと感じられる。過去の経験からも、チケット代を1,000円ほど値下げしても集客数に大きな変化はなかったため、597席を埋めるのは難しい。

→ 活動室は、親しみやすい部屋名にすると認知度等も高まると思う。

→ アーティストの息遣いを感じられるといった距離感の近さが、ホールにはない活動室1・2の特性であるため残した方が良い。

- ホールのように活動室1・2にも録音機能が欲しい。演奏を記録したい。
- 練習室はバレエの練習には手狭で、リノリウムを敷く手間は生じるが、より広いスペースがあれば動き易い。
- 休館中はホールの利用団体が練習場所を失うため、休館期間をできる限る短縮し、事前に利用団体へ十分な周知を行うことが必要。

4 その他

5 閉会